

QOLサポーター新潟

— 新潟医療福祉大学広報誌 —

第8号

2004年11月9日発行 新潟医療福祉大学広報委員会編集



伍桃祭（大学祭）

10月9日、10日の2日間にわたり伍桃祭が行なわれ、たくさんの来場者で賑わいました。今年はテーマを「絆」～イロトリドリノセカイ～とし、学生による伍桃祭実行委員が中心となって企画し、ゲストを迎えての講演やライブ、クラブの発表や模擬店、各学科の紹介コーナーなどをはじめとして、地域の皆様との交流の場となる様々な催し物が行なわれました。



新潟医療福祉大学 社会福祉学科
2004オープンキャンパス

オープンキャンパス

7月、8月、9月に県内外から大変大勢の皆様をお迎えし、オープンキャンパスが行なわれました。学科紹介や、入試概要説明、体験コーナーや模擬授業、教員・学生との相談コーナーなど様々なプログラムが行なわれました。

「疑問が解消され、自分の方向性が明確になった」「受験に向けての意欲が高まった」「大学での授業の様子がわかった」など、自分の進路に向けて、参加されたみなさんは大きな収穫を得たようです（当日実施の来場者アンケートより）。



国際 ミニシンポジウム

平成16年8月9日（月）、本学において主催：新潟医療福祉大学理学療法学科・国際交流委員会、後援：日本理学療法士協会国際部により、国際ミニシンポジウムが開催されました。

このシンポジウムでは、Edward J. Burger氏（ユーラシア医学教育プログラム所長／創設者）、Gillian Webb氏（メルボルン大学教授／世界理学療法教育会議議長）、内山靖先生（日本理学療法士協会国際担当理事）に貴重なご講演をいただき、本学理学療法学科学生をはじめとした参加者は熱心に耳を傾けました。



平成16年度 医療福祉施設求人説明会

平成16年8月9日（月）、本学図書館棟3階大講堂において、4年生を対象とした『平成16年度 医療福祉施設求人説明会』が開催されました。

この説明会には県内外合わせて50施設87名の代表者にご参加いただき、それぞれの施設の概要や求める人材等をご説明いただきました。

全体会の後は各施設の代表者の方と個別面談が行われ、各施設のより詳細な紹介や、学生からの質問や相談にも答えていただきました。



トレッキング実習 （スポーツ・健康Ⅱ）

8月15日～17日の3日間、沼山峠～尾瀬沼～鳩待峠を縦断する「尾瀬トレッキング」に、1年生61名がチャレンジしました。3日間でおおよそ10万歩（80km）近い距離を走破したことになります。雨あり晴れありの天気の中「OWNRISK・OWNRETURN」の精神で全員活動できたことは、意味あることと考えます。本学の体育は、自然の中での活動を重視しています。身の回りや自然の変化を敏感に感得する力「センス・オブ・ワンダー」を、どの学生にも身につけてほしいと願っています。

誌名「QOLサポーター新潟」の由来

世界一の長寿国となった我が国では、「いのちの長さ」を伸ばすことと同等に、「生活の質、Quality of Life, QOL」を豊かにすることが、益々重要になっております。新潟医療福祉大学では障害者、高齢者などのQOLを高くすることを支援する（サポート）人材を育成します。このような人材を「QOLサポーター」と名づけました。そして皆様に本学の内容、活動をお知らせする広報誌を「QOLサポーター新潟」としました。

大学院医療福祉学研究所（認可申請中）設置について

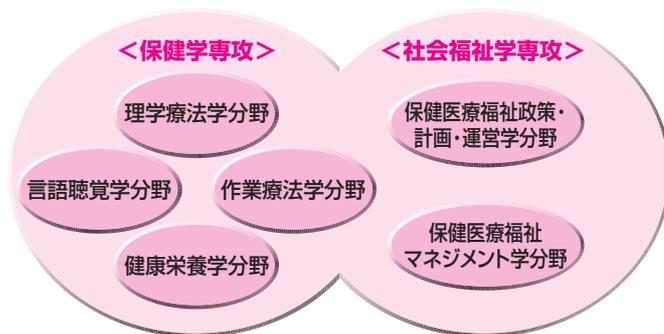
近年我が国の保健・医療・福祉は、少子・高齢社会の到来と国民のニーズの多様化に伴い、複雑多岐かつ細分化、高度化、専門化しておりますが、一方で超高齢社会の到来により、保健・医療・福祉の一貫性ある総合的ケアが推進されております。このような社会構造と保健・医療・福祉政策の激変期にあたり、この分野における教育と研究にも大きな変革が求められております。

人々が日々の生活を健康で安全に営むこと、また病気や心身の障害を持っていて人間としての尊厳に満ちた生活を営むことを援助する専門職の役割は、一層重要性を増してきており、新しい時代に即した高度専門職業人と研究者・教育者の養成は質的にも量的にも急務であります。21世紀の保健・医療・福祉の動向を見据えて、この分野の調和のとれた発展を促すため、新潟医療福祉大学では、大学院修士課程医療福祉学研究所（保健学専攻、社会福祉学専攻）を設置することといたしました。

本研究科では、保健学専攻4分野（理学療法学分野、作業療法学分野、言語聴覚学分野、健康栄養学分野）お

よび社会福祉学専攻2分野（保健医療福祉政策・計画・運営学分野、保健医療福祉マネジメント学分野）に関する基礎研究と臨床・実践研究を推進して、これら分野の学問体系を確立・発展させ、その成果を社会に還元していくことを理念としています。

更に、この学問体系を基に、21世紀を担う高度専門職と研究者・教育者とを育成し、保健・医療・福祉に対する社会的ニーズに応えていくことを目的としています。



健康スポーツ学科新設について

2005年4月より、本学医療技術学部に健康スポーツ学科が新設されます。

健康スポーツ学科では、高度な文明社会、超高齢社会において、人々がスポーツや運動を通じて、生涯にわたり人間らしい充実した生活をおくれるようサポートする人材を育成する学科です。

また、子供から高齢者まで幅広い対象者と接したり、優れた社会性や職業観を持ったプロアスリートと接する



屋内温水プール（イメージ図）



第2体育館・第3研究棟（イメージ図）

機会があることから、あらゆる価値観や立場の違いを超えた人間理解と共感が必要とされます。さらに、スポーツや運動のとらえ方は、近年、実践するスポーツや運動だけではなく、観るスポーツ、支えるスポーツ、地球環境を考えるスポーツ等、新しいスポーツ観に発展してきています。本学科ではこうしたスポーツ環境の変化をとらえ、高い行動力によってスポーツや運動を通じて自ら挑戦する意欲を有し、また明るく、素直で、他人に誠実に対応する事ができる人材を育成します。

7.13水害に際しての本学の取組

7月13日三条、中之島、見附を中心に集中豪雨と堤防決壊による河川氾濫のための大規模な水害が発生し、その復旧に向けて住民の皆さんが並々ならぬご苦勞をされておられ、広く救援ボランティアを求めています。

本学では平成16年7月21日(水)に臨時総務会を開き、「7.13水害に際しての本学の取組」について検討し、本学の地域貢献として取り組むことを決定しました。高橋学長を対策本部長、櫻井副学長、小野学生部長、佐藤教授、丸田講師を対策本部員とする対策本部を設置し、新潟医療福祉大学としてボランティア活動に参加することを決定し、目前に迫った定期試験に対して学生へのできる限りの配慮を考えた上で、学生にボランティア活動への参加を呼び掛けることが決定されました。

3、4年生については学外実習や就職活動のことを考慮し、1、2年生を中心に呼び掛けることとし、7月22日(木)、23日(金)の2日間にわたり1、2年生向けの説明会を大講堂で実施いたしました。1、2年生が参加しやすいように1、2年生の前期定期試験日程を延期する

こと、送迎用のバス、軍手、昼食を用意することを決定したこと等を説明いたしました。一部の学生から試験期間直前の延期に対して質問や延期しない対応が出来ないかとの質問がありましたが、説明により同意を得て、説明会終了後に学友会が主体となってボランティア活動参加希望者の受付を行い、両日でのべ400名近くの学生の申込受付を行いました。

7月23日(金)より31日(土)の9日間でのべ約400名の学生が本学の学生としてボランティアに参加し、「泥だし」、「清掃」、「ゴミ搬出」、「家具搬出」、「窓拭き」等の作業にあたりました。当初8月1日(日)まで本学としてのボランティア活動を予定しておりましたが、現地の復旧状況により7月31日(土)をもって大規模な復旧支援本部は解散される事になり、大学としてのボランティア活動への参加については7月31日(土)をもって終了する事になりました。

多数の本学学生によるボランティア活動に対し、当該地域、被災された方々からあつい感謝の意が寄せられました。



臨床実習体験記



実習を通じて最も考えさせられたこと

●理学療法学科 3年 鈴川 真理

実習を通じて最も考えさせられたことは、患者様の治療の目標を明確にすることの重要性でした。私は以前、そのためにまず問題点を明確にする必要があり、能力低下の裏づけとなる機能障害を把握するための検査・測定などの評価こそが最も重要である、と考えていました。しかし、それ以上に大切なことは、患者様自身をひとつの歴史を持った人格として認め、できる限りその方の視点に立って考える姿勢だということに気づかされたのです。なぜならば、療法士が患者様の人格を理解せずに最も適当な目標を設定することは不可能で、治療には必ず目標が必要だからです。これは本当に難しいテーマだと思います。私は自分以外の他人を理解し、本当にその方の視点に立つことが果たしてできるのでしょうか。しかし、自分ができる限り患者様を理解しようという姿勢が、患者様との信頼関係を生み、ひい

ては患者様の真のニーズを理解する鍵であることは確かです。

大学では、講義や自習を通して学ぶ基礎的な知識や専門分化した知識、先生方の臨床的な経験に基づく知識や治療技術、車椅子や杖などの基本的な福祉機器に関する知識、研究の手法など多くのことを学ぶことができます。これらの知識は臨床において大変重要です。しかし、実習を経て気付かされたのは、私が学ぶのはあくまで患者様のためであり、知識や技術も常に臨床の患者様を想定して学ばなければ役に立たないということでした。ケーシーを着ているだけで、人格的にも知識においても未熟な私に「ありがとう」と言ってくださった患者様がいらっしゃいました。私のこれからの目標は、漫然と知識や技術を蓄えるのではなく常に臨床を想定して学び、本当の意味で「ありがとう」を言われる資格のある理学療法士になることです。

ボランティア・サミット

平成16年7月4日（日）にNSGカレッジリーグ学生総合プラザSTEPにて、新潟県内のボランティア活動を行っている学生団体を一堂に会した学生ボランティア・サミットを開催しました。レクア、コム部（新潟医療福祉大学）は、まなび屋（新潟大学）、テルテルボーイズ（新潟県立女子短期大学）、青りんごの会（同大学）学生ボランティアバンク（新潟青陵大学）と共に、新潟県学生ボランティア・サミット実行委員会として会を主催しました。新潟県内の大学に呼びかけた結果、合計9団体が参加することとなりました。



開会の挨拶

目的としては、新潟県内の大学においてボランティア活動を行っている学生団体、ボランティア活動に関心のある学生並びにボランティア活動を育成・支援している関係者等が一堂に会し、学生ボランティアの現状や課題等について研究討議並びに情報交換会等を行うとともに、学生ボランティアのネットワーク形成を通して社会貢献活動を一層推進することを掲げました。

基調講演では、講師として新潟日報社報道記者の江森健太郎氏（元早稲田大学ボランティアセンター代表）を招き「学生ボランティアの意義とネットワーキング」について語っていただきました。その後各団体の発表に移り、①「各大学におけるボランティア活動の現況」では、各大学がそれぞれの活動報告をしました。②情報交換会では、各大学のブースを設け、参加した学生・一般参加の方が自由に回ることが出来、大いに盛り上がりました。③全体討議「新潟県における学生ボランティアの課題」では、3点について話し合いました。まず『各団体の抱える課題』では「活動に対する意識の格差」「参加するボランティア活動への偏り」等の意見が挙がりましたが、各団体で共通する課題も多くありました。次に『ネットワークの形成について』に関しては「団体を越えての活動が可能」という意見もあり、必要な事だという認識で



各大学の活動紹介

した。最後に『会の継続について』意見を出し合い、今後も継続して開催していくことが必要であり、その第一歩としてメーリングリストを作成しました。

今回のサミットを足がかりとして、新潟県内のボランティア団体とネットワークを築きあげていきたいです。



情報交換会

『サミットを開催して』

●新潟医療福祉大学 社会福祉学科4年 原 隆祥

新潟県学生ボランティアサミットを開催して、以前は活動を共にしても、交流がありませんでしたが、サミットの情報交換会などにより各大学の活動を知ることができ、お互いの理解を深めることができました。また、メーリングリストの作成により大学間の情報交換がしやすくなり、以前は活動を共にすることのなかった団体との協同も可能になり、活動の幅が一層広がりました。

今後の展望として、サミットを継続していくことはいうまでもありませんが、定期的に各大学と情報交換を行い、活動に参加していくことで各大学の団体間の垣根を越えていければと考えています。また、今回のサミットの参加団体だけでなく、県内の各大学によるネットワークを形成していきたいです。それと同時に、大学間のネットワークにとどまらず、社会福祉協議会やNPO団体、公民館などの機関などを含めた地域に根ざしたボランティアネットワークを確立していきたいと思います。

次の開催に向けて、1回目の参加校と共に、実行委員会を結成し、計画を立てていくと共に、昨年同様に、財団法人学生サポートセンターの助成を申請し、前回参加できなかった大学の参加を呼びかけながら開催していきたいと思います。



他大学の学生との交流

伍 桃 祭

平成16年10月9日（土）、10日（日）の2日間にわたり、第4回伍桃祭が賑やかに行われました。9日については台風の影響のため、予定していた屋外でのイベントを屋内で行うことになりましたが、皆様の協力のおかげで楽しく実施することができました。また、10日についてもどうなるか心配でしたが、実行委員の願いが通じ晴天に恵まれました。

各部活を中心とした模擬店、パフォーマンス、ダンス、コーラス、手話などの発表、各学科の研究発表コーナーなど多数の企画が行われました。

また学外からはFUJIWARA様、ハローバイバイ様によるお笑いライブ、新潟医療福祉大学の特色に基づいた企画として、NPO法人自立生活センター新潟副理事長の頓所直樹氏や、脳性麻痺サッカー元日本代表大橋佳介氏にご講演いただきました。どのイベントも盛大に行われました。

実行委員長より一言!!



●伍桃祭実行委員長 鶴川 孝弘

二日間の伍桃祭を行うために、長い間準備をしてきました。大きなモノを動かす難しさを知り、難しいけれど、実行委員のみんなが支えてくれたからできた事だと感じています。

長い間、一緒ががんばってくれたみんなに本当に感謝しています。

また、事務局の方をはじめ先生方の多大なるご協力をいただきありがとうございました。



就職センターからのお知らせ

平成16年度 就職指導スケジュール

後期予定

10月	11月	12月
合同就職面接会 一般企業合同就職ガイダンス (於 新潟市体育館) 4年生対象	保護者会 就職指導体制及び各職種の 就職状況の説明(於 本学) 3年生保護者対象	求職登録 求職登録面接、希望職種、 地域の確認(於 本学) 3年生対象
未内定者フォローガイダンス 自己分析の再確認、これからの 就職活動 4年生対象	就職ガイダンス 情報収集・就職試験の受け方、 ルール等(於 本学) 3年生対象	秋期就職対策講座 就職試験(一般常識)、 教養試験対策、面接試験対策 など(於 本学) 2・3年生対象
	秋期就職対策講座 就職試験(一般常識)、 教養試験対策、面接試験対策 など(於 本学) 2・3年生対象	未内定者フォローガイダンス 自己分析の再確認、これからの 就職活動 4年生対象
1月	2月	3月
未内定者フォローガイダンス 自己分析の再確認、これからの 就職活動 4年生対象	就職ガイダンス 医療福祉職の就職動向 医療福祉施設の採用担当者講演 (於 本学) 3年生対象	春期就職対策講座 就職試験(一般常識)、 教養試験対策、面接試験対策 など(於 本学) 2・3年生対象
		公務員試験対策講座 医療、福祉職の公務員を希望 する学生のための対策講座 2・3年生対象

就職活動奮闘記

就職活動のコツ!?



社会福祉学科 4年 大矢 泰三
(内定先: 社会福祉法人長岡福祉協会高齢者総合ケアセンターこぶし園)

私は就職活動をするにあたり、まず学校の就職センターや先生、職場説明会、ハローワークなどへ何度も足を運び、自分の方向性に合った職場探しを行いました。自分で求人票を見たり、インターネットで検索したりもしましたが、情報に限界があり、そういった意味では先生方のアドバイスにとっても助けられました。次に、その選んだ職場一つ一つに電話をして、見学の依頼をし、可能な場合はその職場へ行く事にしました。これは実際にその職場の雰囲気や状況を自分自身で把握する事ができたので、とても有効だったと思います。ただ私の場合は県内だけでなく県外も視野に入れていたので、学校のスケジュールとの兼ね合いや移動面で困難を感じました。次はもう就職試験なのですが、案内が楽にやれて平気です。「俺が落ちるはずがない」と信じてしまえばいいのです。内定して最初に飲む一口がたまりませんよ。まあ就職活動は先生を活用する事と自分で行動するのみです!!

就職試験対策講座のお知らせ(在学生対象)

特徴

- ①就職試験対策の意識付けを行うべく、エントリーシート・履歴書の記入方法や面接試験・マナーについて講義を行います。
- ②絞込みツールの「筆記試験」対策として、一般教養試験(政治・経済を中心とした時事問題対策)及びSPI試験対策(特に非言語分野)の講義を重点的に行います。
- ③公務員受験希望者に対しては、一般教養試験対策が公務員試験・社会科学分野の政治・経済の初級編に該当します。SPI試験対策(非言語分野)が公務員試験・知能系分野(数的推理・判断推理)の初級編に該当します。

秋期就職試験対策講座

2004年11月3日(水)～12月24日(木)

春期就職試験対策講座

2005年2月28日(月)～3月11日(金)

☆受講料☆

15,000円(消費税・教材費込)
※新潟医療福祉大学後援会のご協力により受講料30,000円のところ半額補助を頂くことになっております。

講座に関する問合せ・申込先

希望者は就職センターまで
TEL 025(257)4457(直)
Email recruit@nuhw.ac.jp

受験生の皆さんへ

2005年度 入学選考試験日程

NEWS! 公募推薦入試後期日程(12月)導入 大学入試センター試験利用入試導入

試験区分	試験地	学科	受付期間	入学選考試験日	合格発表日	入学手続期間
公募推薦後期日程	新潟	全学科※	平成16年12月6日(月) 平成16年12月11日(土) (当日消印有効)	平成16年12月18日(土)	平成16年12月25日(土)	平成16年12月25日(土) 平成17年1月7日(金) (当日消印有効)
指定校推薦※	新潟	健康スポーツ学科 社会福祉学科	平成16年12月6日(月) 平成16年12月11日(土) (当日消印有効)	平成16年12月18日(土)	平成16年12月25日(土)	平成16年12月25日(土) 平成17年1月7日(金) (当日消印有効)
スポーツ自己推薦※	新潟	健康スポーツ学科	平成16年12月6日(月) 平成16年12月11日(土) (当日消印有効)	平成16年12月18日(土)	平成16年12月25日(土)	平成16年12月25日(土) 平成17年1月7日(金) (当日消印有効)
大学入試センター試験 利用入学選考試験		理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 健康栄養学科 社会福祉学科	平成17年1月10日(月) 平成17年1月24日(月) (当日消印有効)	個別学力検査等は課さない センター試験日程 平成17年1月15日(土) 平成17年1月16日(日)	平成17年2月11日(金)	平成17年2月11日(金) 平成17年2月18日(金) (当日消印有効)
一般入学選考試験	前期日程	新潟 東京	全学科	平成17年1月10日(月) 平成17年1月24日(月) (当日消印有効)	平成17年2月2日(水)	平成17年2月11日(金) 平成17年2月18日(金) (当日消印有効)
	後期日程	新潟	全学科	平成17年2月14日(月) 平成17年2月25日(金) (当日消印有効)	平成17年3月5日(土)	平成17年3月12日(土) 平成17年3月24日(木) (当日消印有効)
編入学選考試験	新潟	社会福祉学科	平成16年12月1日(水) 平成16年12月7日(火) (当日消印有効)	平成16年12月18日(土)	平成16年12月25日(土)	平成16年12月25日(土) 平成17年1月7日(金) (当日消印有効)

※新潟県中越地震に伴い募集要項を変更し、12月18日(土)に以下の入学選考試験を追加的に実施することといたしました。
健康栄養学科: 公募推薦後期日程、健康スポーツ学科: 指定校推薦・スポーツ自己推薦、社会福祉学科: 公募推薦後期日程・指定校推薦
(募集人員はいずれの入試区分についても若干名)

■アドミッション・オフィス(AO)方式による入学選考試験、公募推薦前期日程、スポーツ自己推薦、指定校推薦、社会人特別入学選考試験については出願を締め切りました。